

体温計

安全・安心で快適な病院をめざします!!



さすまの使用方法の
講義
(左と中央の写真)



**許しません!!
暴言 暴力 迷惑行為**

**安全・安心で
快適な病院をめざします!!**

暴言・暴力・迷惑行為は、警察へ通報します。
(暴言や威嚇などは録音することがあります。)

暴言・暴力に由来した訴訟は、訴訟の費用は当事者(50:50)におおむねかかると見込まれます。

静岡市立静岡病院

暴言に対するロールプレイング
(下の写真)



院内における暴言・暴力・不当要求への対応研修を実施しました。

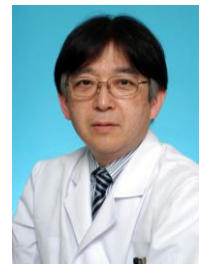
医師、看護師、その他医療関係者及び患者さんの安全を守る体制を構築し、**安全・安心で快適な病院**をめざします。

Index

HIV 感染について	P2	新人看護師としての一年を振り返って	P4
内視鏡手術について	P3	医師人事異動情報	P4
チームで栄養の改善に取り組んでいます	P3	外来担当医・特殊外来一覧表	P5~6

HIV 感染について

診療部長兼血液内科主任科長 前田 明則



昨年4月に診療部長を拝命しました血液内科の前田です。どうぞよろしくお願いいたします。

当院はエイズ診療中核拠点病院です。ここで今回はエイズについてお話ししようと思います。

「エイズ」という言葉はお聞きになったことがあるかと思いますが、「HIV 感染」という言葉をご存知でしょうか。「HIV」というのは、ヒトのリンパ球を破壊して免疫低下を引き起こすウイルスです。このウイルスに感染した状態を「HIV 感染」と呼び、この段階では「エイズ」とは呼びません。感染後、免疫は徐々に低下していき、数年から十数年後には、免疫が落ちた状態でないとかからないような疾患を合併してしまうようになります。この状態を「エイズ」と呼びます。日本の HIV 感染（エイズを含む）者の数は、累計で約2万5000人ほどですが、これはあくまでも検査を受けて感染が確認された人数であり、実際の感染者数はこの5倍以上とも言われています。では静岡県は感染者数が多い方でしょうか、少ない方でしょうか。47都道府県のうち、HIV 感染者は9番目、エイズ患者は10番目に多い県です。

また、検査で HIV 感染が確認された時点で既にエイズを発症してしまっている状態を「いきなりエイズ」と呼びますが、残念ながら静岡県では近年その割合が高くなっています。

感染症と言えば、その高い致死率と感染のしやすさからエボラ出血熱が話題になりましたが、エイズも数十年前には「不治の病」と恐れられていました。

しかし現在では HIV 感染の診療は非常に進歩し、よほど進行した状態で見つかったケース以外は命にかかわることはまずありません。また比較的感染しにくいウイルスで、性的接触や傷のある皮膚に血液を大量にあびたりしない限りは、日常の接触で感染することはありません。

しかし、正しく理解されていないために、感染者がとてつらい思いをするケースが残念ながら少なくありません。そういったことを防ぐためにも、「いきなりエイズ」の割合を下げるためにも、多くの方に HIV 感染について関心をもってもらい、正しい理解をしていただくことが大切です。

今年の1月25日に第22回静岡エイズシンポジウムが市内で開催されました。このシンポジウムでは毎年、HIV 感染をテーマに作成したキルトの紹介があります。今年も藤枝特別支援学校焼津分校と焼津水産高等学校の学生さんが約半年をかけて共同で作成したキルトの紹介がありました。畳1畳より大きい、優しさのあふれた力作でした（下記図）。このように若い人たちが HIV 感染について関心を持ち、正しい理解をして下さっていることはとても嬉しいことです。

当科の診療は、白血病や悪性リンパ腫など造血器腫瘍を中心とした血液疾患の診療が主体ですが、エイズ診療中核拠点病院として HIV 感染診療についても引き続き力をそそいでいきます。



内視鏡手術について

外科・消化器外科 主任科長 前田 賢人

内視鏡手術とは、腹部や胸部に3～15mmの小さな穴を数箇所あけて、腹腔鏡や胸腔鏡といったカメラで内部をモニターに映し出しながら、柄の長い鉗子や電気メスなどの手術道具で行う手術です。日本では1990年に胆嚢を摘出する手術が腹腔鏡下に行われたのが最初で、以来25年、さまざまな手術が内視鏡的に行われるようになってきました。当科でも内視鏡手術に注力しており、胆嚢摘出術、虫垂切除術（モウチョウの手術）、鼠径ヘルニア修復術（ダッチョウの手術）などの良性疾患の手術のみならず、食道がん、胃がん、大腸がんなどの悪性疾患の手術でもその半数以上を内視鏡手術で行っています。

内視鏡手術の利点は「きず」が小さいこと

により、美容的であること、手術後の回復が早いことが挙げられます。最近では、おへそのところに1箇所のみ穴をあけて行う単孔式手術（TANKO：タンコーと呼んでいます）で、胆嚢摘出術や虫垂切除術を行うことが増え、きずはほとんど目立たないものになります。一方、操作性に制限があり、手術時間が長くなる点は、今後克服していかなければならない問題です。しかしながら、内視鏡手術には、拡大視効果とあって、カメラを手術操作部位に近接させることにより、肉眼でははっきりと認識しがたい構造も明瞭に映し出すことができ、精緻（せいち）な操作が可能となることも大きな利点で、この特徴を活かしつつ、さらなる治療成績の向上を目指しています。

チームで栄養の改善に取り組んでいます

栄養サポートチーム (Nutrition Support Team, NST) 主任栄養士 金原 葉子

「最近食欲がない・・・」「体重が減ってしまって・・・」。そんな患者さんの栄養状態を評価し、改善と早期快復に向けて活動しているのが、栄養サポートチーム (NST) です。平成17年にNST委員会が発足し、9年が経過しました。医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚士、事務職員から構成されるチームで、入院患者さんの回診を毎週行っています。また、院内職員を対象にした勉強会を重ねてきました。

平成23年からは、年1回院外に向けての情報発信として、市民公開講座を開催しています。これまでは、栄養不良の原因となるリスク予防を目的として、誤嚥性肺炎・がん・転ばない足腰をテーマに行いました。

4回目となる昨年11月は、100名近い市民の方の参加があり、誤嚥予防の口腔体操など

の実技も行い、大変好評でした。アンケートでも、「とても参考になった」「自分や家族のために活かしたい」などの意見をいただきました。

NSTでは、今後も栄養の面から治療や健康維持をサポートしていく活動を続けていきます。



2014年11月8日
「高齢者の誤嚥性肺炎を減らそう」市民公開講座の様子

新人看護師としての1年を振り返って

西4階病棟 浅賀 桃子

西4階に配属になり1年が経過しました。産婦人科、小児科、内科の混合病棟で、赤ちゃんから高齢の方まで幅広い年齢の患者さんがいる病棟です。覚えることも多く、分からないことばかりで悩むことも多かったですが、自分の行ったケアに対してありがとうや、あなたが来てくれると嬉しい、という言葉がもらえるとても励みになります。まだわからない事や自分では気づけないことが多くあり、日々勉強だと感じます。何事も丁寧に、そして安心した入院生活を送っていただくために何が必要か常に考え行動していきたいです。

西7階病棟 大橋 真帆

社会人を経て、夢だった看護師になりました。病棟に配属されたばかりの頃は、緊張の連続。苦しくて辛い時もありました。しかし、私が困った顔をしていると「大丈夫？」と先輩方は声を掛けてくれ、熱心に育ててくれました。この一年、沢山の方々に支えられ、今の私があるのだと思っています。

患者さんが術後の痛みに耐え、リハビリに懸命に取り組む姿を見ると、私も頑張らなければと思い、気持ちが引き締まります。これからも、就職した時の気持ちを忘れず、経験した事を日々振り返り、自分の力にできるよう努力していきたいと思います。

東10階病棟 長田 沙帆

看護師となって静岡病院で働き、あっという間に1年が経とうとしています。4月の頃は初めてのことばかりで不安が強く、戸惑う日々でしたが、先輩看護師から指導を頂き、少しずつ成長できていると感じています。しかし、業務に追われることが多く、患者さんのことを十分に考えられず、自分の無力さを痛感することもしばしばですが、その中でも硬い表情だった患者さんの笑顔が見られた時や、ありがとうと言われた時、もう少し頑張っていこうという気持ちになります。患者さんの入院生活が少しでも不安なく過ごせるよう看護をしていきたいです。

医師人事異動情報

平成27年4月1日採用

診療科名	氏名	診療科名	氏名	診療科名	氏名	診療科名	氏名
外科・消化器外科	藤本 康弘	整形外科	澤田 智一	歯科口腔外科	原園 陽介	循環器内科	後藤 貢士
外科・消化器外科	川守田 啓介	整形外科	平松 聖士	歯科口腔外科	柴田 真里	循環器内科	溝渕 真由子
外科・消化器外科	杉山 朋大	形成外科	三倉 文子	泌尿器科	新垣 隆一郎	呼吸器内科	草ヶ谷 英樹
外科・消化器外科	小西 大輔	形成外科	青山 昌平	泌尿器科	後藤 修平	内分泌・代謝内科	清水 洋佑
外科・消化器外科	高本 尚弘	呼吸器外科	野口 未紗	耳鼻咽喉科	藪内 咲	麻酔科	公平 順子

平成27年3月31日退職

診療科名	氏名	診療科名	氏名	診療科名	氏名
泌尿器科	佐々木 美晴	歯科口腔外科	荒木 泰博	呼吸器内科	小谷内 敬史
外科・消化器外科	仲野 健三	歯科口腔外科	炭野 淳	消化器内科	増井 雄一
外科・消化器外科	橋田 和樹	泌尿器科	藤川 祥平	消化器内科	小高 健治郎
整形外科	松原 隆将	循環器内科	高木 保	血液内科	根来 暁子
呼吸器外科	西川 滋人	循環器内科	松倉 学		

※根来医師は3月29日退職

